

自宅介護 排せつの悩み

長岡にケア相談所

紙おむつの扱い方を指導

漏れなど防ぎ負担軽減

周囲に相談しづらい排せつに関する悩みや相談を受け付ける「家庭の排泄ケア相談所」が、長岡市三ツ郷屋町にオープンした。市内の医療法人崇徳会が開設。排せつケアに特化した相談所は県内でも珍しい。高齢者や障害者を自宅で介護する人の悩みや疑問に対応するほか、介護の専門職らがケアを学ぶ講習会も開く予定だ。



崇徳会によると、家庭での排せつケアについては、紙おむつのメーカーごとの違いや、要介護者の体型に合わせてテープの張り方を変えろといった扱い方を学ぶ場がないことが課題という。退院し家庭での介護が始まった時、排せつのトラブルが介護者の大きな負担となることが多い。

ケアを一度は学んでいる介護福祉士らにとっても、製品の進化に合わせて学び直す必要がある。山口勇司事務局長(67)は「時代に合った知識や技術がないと、漏れたり夜中に何度もかえ紙おむつメーカーのグループ会社の協力を得て、排せつケアの講習会も開く。相談、受講費は無料。

開所時間は平日の午前9時～午後4時。誰でも相談できる。問い合わせは地域総合サービスセンター内の相談所、02558(27)7331。

たりしなければならず、介護の負担になる」と指摘する。

また、使用している本人も悩みを医師らに相談しづらく抱え込みやすい。

こうした背景から、崇徳会の地域総合サービスセンター内に相談所の開設を決めた。11月上旬にあった開所式で、所長を務める加邊純雄医師(80)は、「高齢化が進み、排せつケアは重要な問題となっている。ケアのスキルアップを図り、困っている家族の相談の場にしたい」とあいさつした。

相談所ではスタッフが本人や家族から連絡を受け、排せつケアの研修を受けた看護師、介護福祉士ら10人が内容に応じて対応する。

紙おむつメーカーのグループ会社の協力を得て、排せつケアの講習会も開く。相談、受講費は無料。

開所時間は平日の午前9時～午後4時。誰でも相談できる。問い合わせは地域総合サービスセンター内の相談所、02558(27)7331。